

レジメン名	アテゾリズマブ+CBDCA+nab-PAC療法	アテゾリズマブ(1)+CBDCA(1)+nab-PAC(1,8,15)【q21d】
がん種又は疾患名	非小細胞肺癌	

承認されたレジメン		承認されたカスタマイズの範囲
day1		
<内服>	イメンドカブセルセット 1枚 初日 実施の1時間以上前に内服 2～3日目 朝食後内服	
<本体1>	生食 50mL アロキシン 1V デキサメタゾン 6.6mg 6分 パロノセトロン0.75mg/50mL 1袋 ※フィルター付き点滴ラインを使用	ステロイドは省略してはいけない 5-HT3拮抗薬は省略してはいけない
<本体2>	生食 250mL 初回 60分 テセントリク 120(2回目以降) 30分	生食以外は使用しない 2回目の投与時間は主治医と確認 1200mg/body
<本体3>	生食 50mL 6分	フラッシングのために必須
<側管1>	生食 50mL 6分 ※Rp4以降は本体3終了後、側管から投与 (フィルターは通さない)	
<側管2>	アブラキサン 100mg/m <sup>2</sup> 30分 生食 50mL (1バイアル当たり生食20mLで溶解する)	患者の状態に応じて適宜減量してよい (減量の目安：添付文書参照) 生食ボトルを空にして、空ボトルに溶解液の必要量を注入
<側管3>	生食 50mL 6分 ※最初にアブラキサンと同速で16mL注入する 残りの生食34mLを500mL/hrで注入する	フラッシングのために必須
<側管4>	カルボプラチン AUC 6 ブドウ糖5% 250mL 60分	患者の状態に応じて適宜減量してよい 調製後は8時間以内に投与を終了すること
<側管5>	生食 50mL 6分	フラッシングのために必須 投与速度は約500mL/hrで
day 8,15		
<本体1>	生食 50mL 6分 デキサメタゾン 6.6mg	ステロイドは省略してはいけない
<本体2>	アブラキサン 100mg/m <sup>2</sup> 30分 生食 50mL (1バイアル当たり生食20mLで溶解する)	患者の状態に応じて適宜減量してよい
<本体3>	生食 50mL 6分 ※最初にアブラキサンと同速で16mL注入する 残りの生食34mLを500mL/hrで注入する	フラッシングのために必須